

患者さんへの臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、当センターでの診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われます。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、対象となる患者さんから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせがございましたら、下記へご連絡ください。

【研究課題名】

大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の予後に関する検討

【研究機関・研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科 病院助教 三浦孝也

【研究の目的】

内視鏡的粘膜下層剥離術(endoscopic submucosal dissection: ESD)は、腫瘍の大きさに関係なく高い一括切除率が得られる手技として、胃をはじめ食道や大腸など消化管の腫瘍に対して広く行われています。本邦における高齢化は年々進行しており、高齢者を含む大腸 ESD の短期および長期治療成績について検討を行います。

【研究の対象となる方】

2005年5月1日から2016年5月31日の間に、当科で大腸腫瘍に対して ESD を施行した患者さんです。

【研究の方法及び使用する情報】

患者さんの病状に関する情報、血液検査データ、内視鏡検査データについての情報をカルテおよびアンケート調査用紙から収集し、長期予後や治療結果などを検討します。

【研究期間】

この研究の期間は、許可されてから 2025年3月31日までです。

【個人情報の取り扱い】

患者さんの情報は、個人の特定ができない形で本研究（学会発表や論文発表を含む）に使用させていただきますと考えています。発表に際して患者さんの個人情報は保護されます。

また、希望される場合には、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、研究の資料を入手または閲覧することができます。

患者さんまたはご家族の方で、患者さんの情報が本研究に使用されること又は他の医療機関へ提供

されることに同意をされない場合には、遠慮なく下記へお申し出ください。研究に不参加であっても、患者さんに不利益が被ることは一切ございませんのでご安心ください。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

Tel048-647-2111

研究担当者：消化器内科 三浦孝也

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター

総務課 Tel048-648-5225